

日刊工業新聞

3月20日・水曜日 2024年（令和6年） 23

宇宙産業参画目指す

技術経営士の会
東海支部 HOSPO講演会

【名古屋】技術経営

士の会東海支部（名古屋
市西区、新美篤志支
部長）は、名古屋市中
村区で講演会「宇宙へ
の扉を開く」を開い
た。宇宙産業への参画
を目指す中部地域のモ
ノづくり企業を中心に
会場で110人、オン
ラインで33人が参加。
北海道大樹町の商業宇
宙港「北海道スペース
ポート（HOSPO）」を運営するSP
ACE COTAN
（スペースコタン、北
海道大樹町）の小田切
義憲社長が宇宙産業の
現状と将来像を解説し
た。

冒頭、黒川豊大樹町
長が「酪農地域である
小田切スペースコタン
社長は、牛が出すメタン
ガスを液化しロケット
燃料にする取り組み
を紹介

ため、全国からの応援
がないと成立しない。
ぜひ協力してほしい」
とあいさつした。講演
では、小田切社長がH
OSPOの宇宙港とし
ての優位性と想定する
活用方法を紹介。ま
た、ロケットの部品は
オーダーメイドである
ことがほとんどで部品
調達が課題だと指摘
し、モノづくりのノウ
ハウを持つ中部地区の
企業との連携が重要と
説明した。将来、宇宙
産業が北海道に集積す
れば、付随する衣食住
の分野でも参入の余地
があることも示唆し
た。

新美東海支部長は
「宇宙産業はこれから
伸びていく市場。やれ
ることはあるはずなの
で、この講演会をきっ



かけに自社の得意分野
が生かせる
場所を考え
て」と述べ
た。